



和泉市 消防団だより

令和5年度全国統一防火標語

火を消して 不安を消して つなぐ未来

第10号

■和泉市消防団本部■

和泉市一条院町140-2

(代)0725-41-0119

(直)0725-41-6287

発行責任者

団長 萩本恵隆

編集責任者

副団長 吉村秀人

消防出初式



新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となっておりましたが、和泉市消防出初式が三年ぶりに令和五年一月七日に黒島山公園で開催されました。

式典では感染対策を十分に行い、一部規模を縮小しての開催でありましたが、式典当日は晴天にも恵まれ、多くの来賓、市民の皆さまご来場のもと盛況に開催することができました。

まずは、萩本恵隆団長の開会宣言に始まり、来賓による人員及び車両の視閲、和泉市消防団第四分団によ

る小型ポンプ操法で規律、敏速な放水訓練が披露されました。

そして、式典の締めくくりにして恒例の消防車両による一斉放水が消防団、少年消防クラブの自在の放水角度に操られ新春の晴天の青い空を水しぶきいっぱい覆いました。

災害は時と場所を選びません。日々防災意識を高め、各防災関係機関等との連携を図り「市民の安全・安心を守る」と認識できた和泉市消防出初式でした。

新分団長紹介



令和五年四月一日付で第五分団長を拝命しました藤原 裕史です。

第五分団分団長 藤原 裕史

分団長の責任の重大さを痛感し、身の引き締まるおもいです。地域防災の中核を担う消防団として、消防団員の技術、知識の向上に努め、そして、安心、安全に対する防災への高い意識を持つ組織作りを進めてまいります。今後も皆様方のご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



令和五年四月一日付で、第三分団長を拝命いたしました横田和巳です。

第三分団分団長 横田 和巳

コロナ禍で中止・縮小されていた、消防団活動も少しずつ再開されてくると思います。近年は、台風や大雨などの、今までに経験したことのないような、自然災害が増えてきている中、地域の安全・安心を団員一丸となり、日頃の訓練なども、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。皆様のご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。



令和五年四月一日付で第二分団長を拝命いたしました、西村隆則です。

第二分団分団長 西村 隆則

我々消防団は、地域の皆様とともに「自助・共助」の精神のもと、日頃から災害時に備え、「地域防災の要」として団員一丸で取り組んでいます。地域の安全は、決して一人では守ることはできません。これから地元町会と協力・連携し、安全で安心な暮らしが築けるよう、精一杯活動してまいります。

消防長の横顔



岡田消防長の挨拶については、四月一日の就任時にされましたので、今回は横顔について紹介します。岡田消防長は、坪井町出身で昭和五十八年に消防本部に入庁、救助隊長、総務課長、消防署長を歴任され、その後役所へ出向、危機管理監を経て現在に至る。特に消防団のポンプ操法の指導に際して、結果主義をモットーに鬼教官として職員及び団員から恐れられ、他市消防団からもレクチャーの声が掛かったとか。

そんな消防長に「消防団とは」とお聞きしました。「そやなあ。消防本部と消防団は切っても切れない親戚や。火災や災害時はもちろんやけど、普段からの付き合いも大事にせなあ。特に和泉市の消防団は歴史や伝統もあるしポンプ操法でも有名やろ。オレらも退職したら守ってもらわんとあかんしな。そんな消防団、誇りに思ってるよ。」とどこかの球団の監督みたいにコテコテの大阪弁いや横山弁で返ってきました。

支部総合訓練



開催日時・令和5年8月20日・9時30分開式
開催場所・堺市 総合防災センター
参加団体・和泉市、堺市美原区、高石市、
泉大津市、忠岡町の各消防団



炎天下の中泉北地区支部総合訓練が、堺市美原区の堺市総合防災センターにて開催され、多くの来賓者の出席のもと当市団から団長以下六十名の団員が参加しました。

訓練は人員機械器具の報告から始まり今年度出場予定の高石市消防団による小型ポンプ操法及び泉大津市消防団によるポンプ車操法訓練のお披露目又、一斉放水訓練では本市代表として和田班団員が見事な直上放水を披露し盛大な拍手を頂きました。
尚、今回開催場所となりました堺市総合防災センターでは、地域防災を担う人材の育成として地震体験・消火体験・煙暗闇避難体験・水流歩行体験等ツアー形式での体験により実災害に近い災害体験を行うことができる施設となっています。



消防団幹部候補中央特別研修

第二分団内田班

田中 孝一

令和五年二月一日～三日、東京都港区のセミナー会場A P新橋にて消防団幹部候補中央特別研修が開催されました。

全国四七都道府県から各二名ずつが選抜され、消防庁の方々や日本消防協会会長の訓話を頂きました。また阪神淡路大震災、東日本大震災・令和元年房総半島台風での消防団活動のお話など、当時の写真や映像を踏まえてご教授下さいました。その他にも課題を与えられ、全国の現役団員の方々とディスカッションをして意見交換を行いました。

我が和泉市消防団から当研修への参加はおおよそ半世紀振り、またこの先も半世紀ほどは参加する機会がないとお聞きしており、気合を入れて受講させて頂きました。

今や全国的にもなり手が少ない消防団ではありますが、実際に災害が起きるとマンパワーは物凄く力を発揮します。今回の研修内容を他の団員へお伝えして今後の消防団活動に活かすと同時に、地域にとつての消防団の大切さ・消防団の魅力を地元の後輩たちにも広め、団員の勧誘活動にも献身していく所存です。

新鋭消防車配備



令和五年三月に第一分団のポンプ車が新たに配備されました。

これまでポンプ車が新配備された時の慣例に習い、泉井上神社にて安全祈願を行い、各町会、自治会には配備のお知らせをさせて頂きました。

新ポンプ車はこれまでのポンプ車より小振りには成りましたが機能は充実しており操作等が大きく変わりますが、現場でのトラブルが無い様に訓練に励んでおります。

今後とも、国府校区、伯太校区、黒鳥校区、和気校区、芦部校区、池上校区の皆様御理解と御協力を頂きながら皆様の安全、安心、生命、財産を守れるように団員一同にて邁進してまいります。

最後に各町会、自治会の皆様に於かれましては日頃より消防団活動に対しご理解を頂いておりますこと感謝申し上げますとともに、今回の新ポンプ車配備に際してご尽力頂きました消防本部の方々を始め、関係各所の皆様に厚く御礼申し上げます。

年間行事



令和5年		
4月1日	辞令交付式	
5月14日	初任団員研修会	
6月4日	基礎教育訓練A	
6月25日	基礎教育訓練B	
7月9日	機関員講習	
7月23日	消防団員健康診断	
8月20日	泉北地区支部総合訓練	
9月3日	大阪府消防操法訓練大会	
10月15日	幹部科 初級指導課程	
10月29日	幹部科 現場指揮課程A	
11月5日	和泉市地域防災訓練	
11月上旬	各地区別防災訓練	
11月10日	泉北地区支部視察研修	
11月12日	幹部科 現場指揮課程B	
11月18日	消防団員基礎教育訓練	
12月10日	機関科 ポンプ車課程	
12月28日	歳末特別警戒激励訪問	
令和6年		
1月6日	和泉市消防出初式	
1月21日	幹部科 分団指揮課程	
2月未定	救助資機材取扱訓練	
2月未定	若手消防団員研修会	
3月中旬	大阪府消防表彰式	

令和6年消防出初式

開催日 1月6日(土)
開催場所 黒鳥山公園



消防団員紹介

第一分団 団員 上野 智之

入団のきっかけは地元の先輩、地域の方々が和泉市消防団に所属し、活動しているのを見ていたので、大人になったら私も入団し、地域のために何か役に立ちたいという思いがあり入団しました。

消防団活動にはできる範囲で参加しています。負担になっていないことはあまりありませんが、家族と過ごしているときに出勤するときは、後ろ髪を引かれる思いです。

消防団に入ると、地域の方々とふれあう機会がたくさんありますので、多くの人たちから刺激を受け、私自身の視野が広がりました。

また和泉市消防団は和泉だんじり祭りの参加者も多く地域密着の観点からも祭りの事や地域の防災まで自身にとってプラスな一面が有り、同じ第一分団の方には日頃よりお世話になっています。

私個人では出来ない奉仕も消防団の皆さんと協力し合いながら街の人達に還元出来るようにこれからも頑張って活動を続けます。

第二分団 班長 大和 正昭

令和三年にポンプ車が新調され、日々の訓練はさることながら、消火栓や防火水槽などの確認及び使い方の訓練に精進しています。

地元住民に信頼されるための消防団としての誇りを持ち、また消防団活動以外のボランティアとしても、活動していきたいと思っています。

町内には老若男女、子供、たくさんの方がおられます。

最近の災害は、火災にとどまりま

せん。台風、豪雨による災害は、命に関わります。そんな中でも、消防団は勇気を出して、出勤しています。

東南海地震は喫緊に来るといわれていますが、私たちもどうなるのかわかりません。市民の生命と安全は紙一重です。市民の方もハザードマップなど、命を守ることは、準備してください。

まだまだ技量不足ではありますが、これからも地域住民の皆さんに信頼していただけるよう、消防団活動に精励したいと思います。

第三分団 班長 吉川 正一

今年度から、松尾寺班の班長をさせて頂くことになりました。

入団してから、火災・自然災害での活動を何度も経験しました。

今年度も、既に大雨での出動や火災での出動があり、今までは違い、班の先頭に立つて、団員を引っ張っていく立場になり、身の引き締まる思いです。

松尾寺町には、文化財の松尾寺があります。火災だけではなく自然災害時にも、しっかりと対応ができるように、日頃からの訓練等も皆で一丸となり、地域の方々と協力していきながら、消防団活動を頑張っていきたいと思っています。

第四分団 班長 井谷 彦司

私は消防団に入り二十年以上になります。

近年では民家での火災や工場での火災、また大雨による崖崩れの被害が出ています。

民家の火災現場では、大きな炎を目の当たりにし、改めて火災の恐ろしさを感じ、早期発見、初期消火の大切さを感じました。

また近年では温暖化に伴い大雨に

よる被害が増えており、我が地域でも山林に囲まれていることから、同じような被害が出て不思議ではないと感じています。

このような災害に対し、迅速に対応できるよう、去年のポンプ操法で培った団結力を元に、地域の皆様とも連携して、活動出来るように、日々の訓練でも取り組んで行きたいと思っています。

第五分団 班長 壺井 一弥

消防団に入団して九年目を迎えるこの度班長を務めさせていただく事になりました。

五分団は、山間部に位置しており住宅火災だけでなく山林火災及び横尾山での遭難救助など、その活動は、多岐にわたります。入団当初はわからない事ばかりでしたが放水訓練、山林火災を想定しての中継訓練を先輩団員に教えていただき活動しております。

私は会社員をしており平日に出動要請があれば地元にいる団員の方にお願いする事が多く申し訳ないのですが地元にてくれる団員のおかげで助かっております。

近年、台風やゲリラ豪雨に水害が多くなり出動する機会が増え地域の方や団員と協力し消防団活動を行っていくように思います。

第六分団 団員 小野内 寿一

堺市から引っ越して来まして「この土地に住む限りは地元の方と親交を」との思いから消防団に入団しました。あつと言う間に十六年が経ちました。

火災現場での消火活動はもとより、火災に備えての放水訓練や各所に設置されております器具庫の点検、また町内行事の警備、年末の夜警等々地元に着した活動を行って

います。

第六分団は大所帯ですが、各班との繋がりが良く連携もしっかりとできています。

私たちの出番は無いのが一番ですが、万が一に備えた準備も万全にしています。

「地元の安全を」をモットーに今後もしっかりと活動して行きたいと思っています。

最後になりましたが、日頃より消防団の活動にご支援頂いております町会の皆様には感謝しております。

第七分団 団員 藤本 成樹

日頃消防団活動にご協力、ご支援頂き誠にありがとうございます。

さて私たちが室堂班の活動についてお話しいたします。第七分団室堂班は北池田校区、いぶき野校区を担当しています。我が班は火災及び災害に備え毎月第二日曜日に巡回パトロール、及び器具取り扱い点検、第四日曜日に放水訓練、機関訓練を定期的に活動しています。また町民グラウンドの清掃や室堂町のイベントの参加、年一回の地域防災訓練と年末の夜警など活動しています。

これらの活動を通じて昨今地震や水害が多い中、消防団として地域の安全、安心を確保するために各個人の仕事もありながら地道に活動していきたいと思っています。

第八分団 団員 山下 英明

和泉市消防団第八分団に入団したのが平成二十六年四月。早いもので十年目を迎えました。

入団したきっかけは知人からの声掛けでした。はじめは軽い気持ちでいましたが、すぐにその気持ちのスイッチが重いものに変ったのを昨日の日のように覚えています。入

団して数日後のことでした。いきなり火災連絡が入り先輩団員とともに現場に向かいました。何をしたいのかわからず先輩団員に指示されるがまま消火活動を必死で行いました。その現場を目のあたりにしてから、助け合いの気持ちを大切にしながら消火活動に取り組み決意をしました。

まだまだ微力ではありますが私ができる精一杯のことを前向きに取り組んでいき、これからも仲間との力を合わせて安心と安全のまちづくりに向けて貢献していきたいと思っています。

第九分団 団員 森 二郎

私は、令和四年十月に入団し、早いもので一年を迎えます。

入団のきっかけは、何か地域に貢献できることはないか、地域と関わる活動はないかと考えていたとき、知人の消防団員から消防団の活動を聞く機会があり、これだ！と直感したからです。しかし、不安もありました。それは、勤務先が大阪市内のため、入団したとしても、役立つことが出来ないのではないかということです。

その後、不安はあるが入団したい旨を知人に伝え、中分団長から詳しい活動内容の説明を受け、できることをすればいいと言っていたとき、入団することを決めました。

現在は、毎月の放水訓練や機関訓練ならびに新規団員を対象とした基礎教育を通じて消防活動の基礎知識や基本動作の習得に努めております。

実際に火災現場へ出動した際には、中分団長はじめ諸先輩方の指示に従い、安全を確保したうえで迅速に消火活動が行えるよう訓練に精進してまいります。



令和4年度消防表彰受賞者

表彰をお受けになられた皆様、それぞれおめでとうございます。
また、長年にわたって地域の安全のために御尽力いただき心からお礼を申し上げます。



大阪府知事表彰 団本部・副団長 鈴木 寅藏 (一名)		消防功労章 第2分団・分団長 松山 立幸 (五名) 第3分団・分団長 才門 義雄 第6分団・分団長 中塚 哲也 第7分団・分団長 横田 武哲 第9分団・副団長 竹内 正夫		日本消防協会会長表彰 団本部・副団長 吉村 秀人 (一名)		大阪府消防協会会長表彰 功績章 (一名) 団本部・団長 萩本 惠隆 (一名) 永年勤続章 (一名) 第5分団・副団長 藤原 裕史		勤続章 第1分団・班 山崎 敏治 (九名) 第1分団・団員 南谷 英彰 第3分団・団員 中谷 昌彦 第5分団・団員 久住 元洋 第6分団・団員 中塚 康仁 第7分団・団員 仲野 正誠 第9分団・副団長 阪口 誠 第9分団・団員 竹内 正夫 第9分団・団員 児玉 慎治		勤功章 第1分団・班 小野 光治 (九名) 第2分団・分団長 松山 立幸 第2分団・副団長 高橋 信之 第6分団・副団長 立石 善三 第6分団・団員 金谷 智博 第6分団・団員 坂本 純一郎 第7分団・班 藤原 光弘 第7分団・班 永井 道雄 第7分団・班 中村 公洋
精勤章 第1分団・団員 富尾 宝弘 (十四名) 第2分団・団員 井畑 秀宣 第3分団・団員 石倉 昭二 第3分団・団員 川阪 哲之 第4分団・班 小脇 律雄 第4分団・班 井谷 昌紀 第4分団・班 川阪 正俊 第4分団・班 飯阪 太一 第5分団・班 仲谷 竜一 第5分団・班 池邊 重規 第5分団・班 池田 広治 第6分団・班 加藤 利秋 第8分団・副団長 山本 利秋		和泉市長表彰 永年勤続功労賞 (二名) 第5分団・副団長 藤原 裕史 第8分団・班 瀧口 登		和泉市消防団長表彰 勤続賞 (二名) 第6分団・分団長 中塚 哲也 第6分団・団員 高橋 賢 第7分団・班 高橋 信之 第7分団・班 藤原 光弘 第2分団・班 長 高橋 信之 第2分団・班 長 藤原 光弘		1級精勤賞 第1分団・班 小田 義輝 (十一名) 第3分団・班 吉川 一弘 第3分団・班 寺田 智茂 第4分団・班 植林 晃平 第5分団・班 奥野 恭史 第5分団・班 小野 林克之 第5分団・班 日原 大三郎 第6分団・班 小野 内寿一 第6分団・班 藤原 香一 第7分団・班 永井 道雄 第7分団・班 中村 公洋		2級精勤賞 第2分団・団員 関戸 繁樹 (十七名) 第3分団・団員 槌谷 育大 第3分団・団員 東阪 昌希 第3分団・団員 川井 清記 第3分団・団員 西川 勝将 第4分団・班 福本 佳仁 第5分団・班 小山路 山 第5分団・班 和保 全啓 第5分団・班 久保 充貴 第6分団・班 辻本 竜彦 第6分団・班 山崎 武弘 第7分団・班 奥田 正章 第8分団・班 茅沼 仁志 第8分団・班 渡邊 隆太 第9分団・班 渡邊 哲行		3級精勤賞 第1分団・班 廣井 泰智 (二十一名) 第2分団・班 川上 祥智 第2分団・班 辻谷 敏幸 第2分団・班 味谷 正資 第2分団・班 伊藤 裕希 第2分団・班 辻藤 幸人 第2分団・班 奥村 宏宏 第3分団・班 河西 秀樹 第3分団・班 岡本 篤支 第3分団・班 中塚 強央 第3分団・班 十時 聖史 第4分団・班 葛城 真史 第5分団・班 小川 正弥 第5分団・班 納家 剛成 第5分団・班 岡田 徹 第5分団・班 堀田 敏郎 第6分団・班 池田 友裕 第6分団・班 杉本 敬司 第6分団・班 田村 規人 第6分団・班 藤木 規人

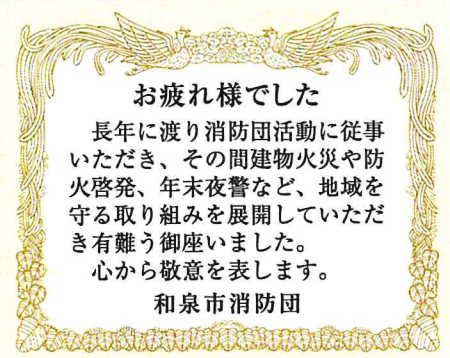


令和5年度和泉市消防団入団者・令和4年度退団者



お仕事をもちのかたわらの消防団活動となろうと思いますが、地域住民の熱い期待に応えていただき、訓練に実践にと力を尽くし心身ともに健やかなる団員として、これから頑張っていたきたいと思います。

入団者 第1分団・団員 太田 剛 (二十一名) 第2分団・班 荒木 凌 第2分団・班 飯田 耕平 第2分団・班 讚岐 祐志 第3分団・班 田中 勇吾 第3分団・班 阪東 清弘 第3分団・班 飯坂 秀太 第4分団・班 角川 庄吾 第4分団・班 井上 和則 第4分団・班 楠本 靖明 第5分団・班 辻畑 清弘 第5分団・班 木之本 浩二 第5分団・班 中林 信幸 第6分団・班 浅野 翔 第6分団・班 藤原 佑二 第6分団・班 石井 康太 第6分団・班 小林 航 第6分団・班 小塚 秀明 第6分団・班 田村 光将 第6分団・班 北坂 敏樹 第3分団・班 河西 良樹		退団者 第1分団・団員 南 英彰 (二十四名) 第2分団・班 小野 善道 第2分団・班 松山 立幸 第2分団・班 高橋 久雄 第2分団・班 関戸 繁樹 第3分団・班 才門 義雄 第3分団・班 中塚 康仁 第3分団・班 中塚 吉博 第3分団・班 吉川 一弘 第3分団・班 中塚 吉博 第4分団・班 森橋 啓之 第4分団・班 東川 尚志 第5分団・班 西川 利仁 第5分団・班 奥野 真仁 第6分団・班 長山 涼 第6分団・班 赤玉 貞仁 第6分団・班 永野 真樹 第6分団・班 佐々木 悠輔 第7分団・班 上野 和憲 第8分団・班 須田 勝利 第8分団・班 森 隆志 第9分団・班 佐藤 末廣 第9分団・班 和田 孝治	
---	--	--	--



お疲れ様でした

長年に渡り消防団活動に従事いただき、その間建物火災や防火啓発、年末夜警など、地域を守る取り組みを展開していただき有難う御座いました。
心から敬意を表します。

和泉市消防団